

# ★ トーク & トーク



愛知万博が閉幕し、「もう思い残すことはない」と振り返るのは、協和工業社長の鬼頭佑治さん。地元で開催された万博。車で走ればすぐに会場ということもあり、「二十数回は行った」と家族一緒に足繁く会場に足を運んだ。また「地域のボランティアに関心があった」ため、万博会場の駐車場を案内するボランティアも引き受けて汗を流した。

「最終日の雰囲気を自分の

## 万博機に増えた家族との時間

目で確かめたかった」ため、最終日にも家族一緒に会場に出かけ、閉幕を惜しんだ。わ



参加した万博に万感の思いだ。

働き始めてから事業が軌道に乗るまでは仕事漬けの日々だったが、近年は初めて家族でハワイに出かけ、家庭菜園にも励むなど、家族と一緒に過ごす時間を増やしている。

「旅行好きな妻は不満だろう。今後はもっと機会を増やさないと」。万博を機に増えた家族との時間を大切に考えている。

ボランティヤとして、家族で